

○「京力農場プランを検討」

(京都府宮津市 由良地区連絡会議)(平成30年度第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年3月11日(月) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市由良集会所
- 出 席 者: 藤井会長、榊田推進委員
営農組合 7人 府1人 市3人
※委員2人、委員以外11人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 東部生産組合(浜野路・港・石浦)によるほ場整備地区(95人)。トラクターを所有し貸出
- 由良東部農地管理協議会(30人)で中山間・多面的事業を実施／由良地区営農組合が乾燥機を所有し、受託組織となっている
- 上石浦では個人がオリーブを直売／下石浦では、みかん組(代表・藤本とくお氏)合があるが組織活動はなし

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの説明と意見交換
 - プランの柱
 - ・生産品目の明確化→そば・山の芋促進
 - ・新規就農の促進→後継者確保と集落外から
 - ・低コスト化→集落営農組織による効率的な農地利用
 - ・販売→栽培契約
 - 意見交換
 - ・家族後継者の確保で、土日にオペレーターを要請してはどうか
 - ・機械所有の確認(乾燥調整施設、トラクター)
 - ・大規模農家が離農した時の対応
 - ・みかん栽培と水田の経営
 - ・組合員全体の活動とするには

※非常に積極的な意見交換になった



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援